

## 特別委員会報告

### 総合計画特別委員会

総合計画特別委員会は、12月定例会以降、3回の委員会を開きました。

1月13日には、パブリックコメントを実施するための総合計画の素案について、前回の委員会で提案した項目を中心に議論しました。

2月21日の委員会では、1月13日の委員会で出された意見やパブリックコメントに寄せられた意見、総合行政審議会の答申や、地域福祉計画、都市計画マスタープランとの整合性について議論いたしました。

さらに、3月18日には、総合計画の基本構想と基本計画の議案2件について説明を受けたいうで審査し、それぞれ可決しました。

当委員会は、平成21年6月定例会で設置され、勝山市総合計画の策定に関する事項について調査を行ってきました。

今期定例会で議案2件について審査を終了し、その目的が達成されたものと判断し、今期定例会をもって廃止されました。

## トピックス

### 議員研修会

去る2月21日、福井県立大学特任教授の中沢孝夫氏をお招きし、議員研修会を開催しました。

中沢氏は経済評論家で、製造業を中心に数多くの経営者や従業員から聞き取り調査を行い、中心市街地・商店街の実態調査をされています。今回はまちづくりと地域経済についての講演をいただきました。

講演の中からのキーワードをいくつかご紹介します。

#### 1. 教育の重要性について

経済、文化など全ての付加価値は人間が作り出す。このことに立脚し、福井県は子ども達に教育投資をしてきた。教育投資が一番大切なことである。十分な教育への投資はその次の子の教育にまでつながることとなり、地域の基盤形成に寄与することになる。

#### 2. 外に目を向けることの重要性について

ずっと地元だけを見ていては本当のニーズがわからなくなる。他との比較で何を評価するかが大切である。例えば織物業も衰退していると言われているが、ある織物業を営む経営者は既成のホームシアター用のスクリーンに不満を抱き、自分で製造することにした。これが一般家庭からだけでな

く、企業にも非常に好評を得て大きな利益を生んだ例もある。

#### 3. 徹底的な調査の重要性について

地方都市で残っている産業があれば、生き残った理由を徹底的に調べることが大切。細かい調査をしていくと浮かび上がるものが必ずある。残ったもので元気がいいものを取り上げ、業種別の勉強会をすると非常に効果がある。



これら講義を受けて議員からは地元の企業のPRの重要性や町の活性化と文化の関係、研究開発について、地域資源の活用方法、代表的な町の活性化事例等、数多くの質問がなされました。

勝山市でも産業の振興とまちづくりは非常に重要な課題です。今後ともいろいろな提案をして、町の活性化に寄与できるようまい進していきます。